

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

8月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ : インフルエンザ : 0件（前月比-、前年比-）でした。昨年の12月(6,509件)がピークであり、3月からは著しく減少しています。6月からの発生はありません。

### 小児科定点

（全体傾向）

1,897件（前月比0.93、前年比0.49）でした。昨年比は大きく低下しています。ヘルパンギーナ 966件(前月比1.7、前年比2.1)、感染性胃腸炎380件(前月比0.5、前年比0.3)が主体となっています。多くの感染症が昨年と比べて著しく減少しており、特に、注目すべき点として、近年は夏から秋にかけて流行するRSウイルス感染症の発生がありませんでした。新型コロナウイルス感染症に対する予防策が広く行われていることが、他の感染症予防にも効果が出ている可能性があるかと推測します。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 0件（前月比-、前年比-）でした。近年は7月～10月に流行を認めており、昨シーズンは8月の発生数は708件でした。一方、本年度の8月は、発生がありませんでした。
2. 咽頭結膜熱 : 34件（前月比0.5、前年比0.2）でした。前月比、前年比ともに低下しています。特に、前年比は0.2と著しく低下しています。5月からは昨年より、低い値で推移しています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 72件（前月比0.5、前年比0.2）でした。前月比、前年比ともに低下しています。特に前年比は0.2と著しく低下しています。5月から、例年より低い値で推移しています。
4. 感染性胃腸炎 : 380件（前月比0.5、前年比0.3）でした。前月比、前年比ともに低下しています。特に前年比は0.3と著しく低下しています。2月から例年より低い値で推移しています。山鹿(18.0)、菊池(17.0)、御船(11.67)が高くなっています。
5. 水痘 : 39件（前月比0.8、前年比1.0）でした。前月比は0.8と低下していますが、前年比は1.0と変化がありませんでした。例年なみで推移しているようです。
6. 手足口病 : 99件（前月比0.9、前年比0.2）でした。前年比は0.2と著しく低下しています。例年は4月から9月にかけて流行を認めていますが、本年度は明らかなピークを認めず、例年より著しく低い値で推移しています。
7. 伝染性紅斑 : 4件（前月比0.6、前年比0.1）でした。前年比は0.1と著しく減少しています。1月をピーク（400件）として、連続して減少し、6月以降は1桁の低い値で推移しています。
8. 突発性発疹 : 129件（前月比0.6、前年比0.9）でした。前月比は0.6と低下していますが、前年比は0.9であり、例年と大きな変動はなく推移しています。
9. ヘルパンギーナ : 966件（前月比1.7、前年比2.1）でした。前月比、前年比とも、著しく上昇しています。発生数は7月から連続して増加しており、例年より高い値で推移しています。菊池(48.0)、宇城(27.25)が特に高くなっています。

10. 流行性耳下腺炎 : 12件(前月比0.8、前年比0.2)でした。前年比は0.2であり、昨年より著しく低下しています。例年よりも、低い値で推移しています。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数29件(前月比0.8、前年同月0.2)と減少しています。熊本から25件、菊池1件、有明3件の報告です。年齢別では1歳以上のほぼ全年齢層で発症していますが、20~39歳代にピークがあります。

### STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :  
報告数61件(前月比1.3、前年同月比1.0)で、前月比微増、前年同月とは同数でした。男女別は、男性に46件、女性15件と男性に多く見られました。年齢別では、男性は20~50歳に多く、未成年(16-19歳)、60代以上にも散見されました。女性も15~39歳に集中していました。地区別は、熊本が51件と圧倒的に多く、次いで宇城に3件、御船、八代、有明に各2件、菊池1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :  
報告数18件(前月比0.7、前年同月比0.6)で、前月比、前年同月比とも減少していました。男女別は、男女ともに9件でした。年齢別では、男性は20~50歳、特に女性は20~30歳に集中していました。地区別は、熊本、菊池が6件、御船、八代が2件、有明、宇城1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :  
報告数は9件(前月比3.0、前年同月比1.3)で、前月比、前年同月比いずれも増加していました。男女別では、男性7件、女性2件でした。年齢別では、男女とも20~40歳に多発してありました。地区別は、熊本が6件、次いで宇城2件、八代1件でした。
4. 淋菌感染症 :  
報告数は20件(前月比1.1、前年同月比1.2)で、前月比、前年同月比いずれも増加していました。男女別では、男性18件、女性2件でした。年齢別では、男女とも15~50歳と幅広く見られてありました。地区別は、熊本15件と圧倒的に多く、次いで宇城に2件で菊池、八代、有明、各1件でした。

### 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :  
報告数21件(前月比1.6、前年同月比1.0)でした。14件(66.7%)が70歳以上でした。乳幼児では0件です。人吉(4件、定点あたり4.0)、熊本(11件、定点あたり2.2)が多くなっています。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :  
報告数4件(前月+4、前年同月比0.8)でした。全て熊本からで65歳以上でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :  
報告数0件(前月に同じ、前年同月に同じ)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数報告数0件（前月に同じ、前年同月に同じ）でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月に同じ、前年同月-7）でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数0件（前月に同じ、前年同月-2）でした。減少傾向です。
4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月に同じ、前年同月-1）でした。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：  
報告数0件（前月に同じ、前年同月に同じ）でした。

## 届け出対象感染症

指定感染症	： 新型コロナウイルス感染症	196件
1類感染症	： ありませんでした。	
2類感染症	： 結核	27件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	2件
4類感染症	： レジオネラ症	4件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	梅毒	17件
	百日咳	7件